

# にしじんこうぼう 西陣工房だより

社会福祉法人 京都西陣福祉会  
障害者多機能型事業所 西陣工房  
〒603-8333 京都市北区大將軍東鷹司町 109-1  
☎(075)462-9101 Fax(075)468-9122 mail info@nishijinkoubou.com



南アルプス最北端守屋山（東峰山頂）にて R5.5.5

## 【6月の予定】

- 6月3日(土)ウクレレサークル 10時~12時  
保護者会 13時30分~15時
- 6月10日(土)第2回ほっとはあとマルシェ(イオンモール京都) 9時30分~16時30分
- 6月18日(日)全京都障害者総合スポーツ大会卓球バレーの部(島津アリーナ)9時30分

## 【来月以降の予定】

- 7月1日(土)ウクレレサークル 10時~12時
- 8月12日(土)リクレーション(海水浴予定)
- 8月13日(日)~8月16日(火)お盆休み
- 8月16日(火)大文字鑑賞会&食事会
- 9月29日(金)、30日(土)西陣工房オープンデー
- 10月7日(土)~9日(月)秋合宿 国立能登青少年交流の家

●6月3日(土)ウクレレサークル 10時~12時

5月は「みかんの花咲く丘」(ハ長調)、「背くらべ」(ハ長調)、「こいのぼり」(♭1つのヘ長調)の3曲を練習しましたが、6月はイオンマルシェでステージ発表をしますそれに向けての練習をします。ステージ発表では「丘を越えて」、「青い山脈」、「みかんの花咲く丘」、「365日の紙飛行機」を演奏します。



●6月10日(土)第二回ほっとはあとマルシェ(イオンモール京都) 9時30分

6月10日(土)10時半~18時 イオンモールkyoto sakura館4階のkotoホールで市内・府下24の障害者施設が集まって製品販売、施設紹介、ワークショップ、ステージ発表など、多彩な内容を盛り込んで開催します。西陣工房は製品販売、組み紐体験やステージ発表(ウクレレ、手話うた)を行います。多くの皆様のご参加をお願いします。

※ウクレレ演奏の出演時間は11時30分と14時30分の2回です。直接行ける人は11時頃までに、行けない人は9時30分に西陣工房に集合して市バスでイオンモール京都に行きます。ステージ終了後解散で西陣工房16時30分ごろ帰着予定です。昼食、飲み物は各自で用意をお願いします。



●6月18日(日)全京都障害者総合スポーツ大会卓球バレーの部(島津アリーナ)

西陣工房9時30分集合

昨年は施設の部の出場チームが西陣工房だけだったので1、2、3位を西陣工房が独占しました。今年はコロナの規制がなくなったので施設チームの参加も結構あるのではないかと思います。がAチームは全国優勝を目指していますので一般の部の試合で出場します。B,Cチームは施設の部で出場します。一般の部も施設の部も優勝目指して頑張りたいと思います。9時30分に西陣工房に集合してから島津アリーナに行きます。昼食、飲み物は各自で用意してください。

●京都府敬老祝い品(純毛膝掛)の製作順調に進む

毎年のおおしごととなる京都府知事が府内で100歳を迎えるおとしよりおくられるけいろういひんざんねんよさんかんけいお年寄りに贈られる敬老祝い品。残念なことに予算の関係で今年度からひざ掛けに代わりました。例年のショールより長さが短くなったことで他の施設への配分が増えたために西陣工房の今年度の受注枚数は昨年より100枚近く少ない350枚になりました。糸が例年と違うためなかなか思うように進みませんでしたが、5月29日現在244枚織られています。100歳を迎えられる方にご愛用してもらえらる高品質なひざ掛けが贈れるよう、利用者、職員が必死で取り組んでいます。あと、もう少しみんなでがんばりましょう。



頑張って織っています。 R5.5.29



織れた後洗濯し房付け作業。 R5.5.29

## せんげつ 【先月のできごと】

- 4月29日(土)ウクレレサークル 13名参加
- 5月3日(水)憲法記念日 休み
- 5月4日(木)～6日(土)春合宿 国立信州高遠青少年自然の家 利用者14名参加
- 5月14日(日)京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会 利用者21名参加

### ●5月4日(木)～6日(土) 春合宿 国立高遠青少年自然の家 利用者14名参加

春合宿を過去8回雪遊びに訪れた信州高遠青少年自然の家で実施しました。ここは標高1300メートルの南アルプス晴が峰高原の一角で、厳寒時にはマイナス15度にもなる山岳地帯にあります。そのため、高遠と言えば寒々とした氷と雪のイメージでしたが、今回、若葉芽吹く、緑豊かな環境で森林浴と登山を楽しむことができました。

日本中が3年間、我慢させられて、待ちに待ったゴールデンウィークでしたので高速道路の渋滞は激しく、予定を2時間も遅れて到着しましたが、高速バス内は快適でした。

今回目指したのは南アルプス最北端に位置する守屋山、標高1651メートルでした。予報が外れて好天に恵まれ、諏訪と伊那の境界に当たり、糸魚川静岡構造線に当たる杖突峠(標高1200メートル)よりスタートし、緩やかな登山道をゆっくりと上りました。大きなトラブルもなく2時間ほどで、西の峰(1631メートル)を経て東の峰(1651メートル)に登りお昼の休憩になりました。眼下には諏訪湖、北西を見ると北アルプス立山連峰から穂高連峰、上高地の焼岳から、6年前に登った日本で19番目に高い山である乗鞍岳、御嶽山、そして中央アルプス木曾駒ヶ岳に宝剣岳が連なって見えました。そして南に目を移すと、南アルプス赤石岳、北岳、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳などの勇姿が、そのため富士山は見えませんでした。北東には八ヶ岳がどっしりと構え、北には霧ヶ峰、車山、美ヶ原とまさに青い山脈が360度歓迎してくれているという京都周辺では絶対に見ることのできない大変贅沢な景色でした。

同じ道を通るのもおもしろくないので、帰りは道を変えて下りましたが、登りに比べて道が悪く、結構難儀しました。また大蛇と遭遇してびっくりしましたが、無事下山し、自然の家に戻りました。スポーツデーで鍛えているせいか、一部下りを除いて難なくこなせたのは凄いことだと思います。(河合)

### ●5月14日(日)京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会 利用者21名参加

コロナ以降延期、中止が繰り返されて、徐々に開催された大会ですが、まだまだ参加チームが戻らないので、施設大会とは言うものの、その枠を取り払っての開催でしたがそれでも西陣工房の3チームを併せてわずか10チーム。残念な状況でしたが、京都NO1を争ういくつかの強豪チームと試合をすることができました。結果は、善戦はしたものの、緊張感の薄い練習では身に付けられない試合感覚や本番におけるメンタル面での弱さが出て、もう一歩が及ばず、優勝を逃しました。これでは国体優勝はほど遠いとは思いますが、その課題が良くわかり、さらには、西陣工房の存在感は示せたとおもいます。結果 Aチーム2位、Cチーム3位、Bチーム8位



2位表彰式 Aチーム R5.5.14

## いとく ぎぎょう 糸繰り作業

今月は糸繰り作業について特集です。  
西陣工房のオリジナル製品を作っています。

糸繰り担当の四十万です。今回は糸繰り作業についてお伝えします。

現在、西陣工房には13台のゼンマイと、1台のコーン巻き機があります。ゼンマイとは総を枠に巻いていく機械のことです。総というのは何キロメートルもある長い一本の糸を輪っかの形に何重にも巻いたもので、糸を染める時は総の状態です。しかし糸を使うとなると総のままでは大変不便なので、染め上がった総の糸を枠に巻いて扱いやすくするための「糸繰り」の工程が必要になります。

ただ、一口に巻くとは言ってもそう簡単ではありません。まず総をゼンマイのゴコウに掛けなければなりません。慎重に糸を扱わなければ糸があちこちに引っかかり、総の糸道が崩れて上手に巻けなくなってしまいます。仮に丁寧に糸を掛けて糸口を出し枠に巻き始めることができても安心はできません。糸によっては脆く切れやすかったり、非常に絡みやすかったりするものがあるのです。糸が切れたときには目をこらして正しい糸口を探し出して繋げなければなりませんし、絡まった糸は迅速にかつ丁寧に解かなければなりません。もし上手に糸を直せなければ、巻き終わるのに通常の何倍も時間を要する「繰りはぐれ」と呼ばれる状態になってしまいます。数年前は毎週のように繰りはぐれができていましたが、最近は利用者さんの練度が上がったようであり見かけなくなりました。

そうした利用者さんの頑張りによって繰られた糸は主に織物の経糸として使われ、経糸を準備する工程「整経」へと引き継がれます。そして最終的には帯や着尺、和装小物となって老舗の織屋さんや百貨店の店頭で並ぶのです。

昨今、西陣織業界は競争力の低下や職人の高齢化、後継者問題もあり他の伝統工芸同様に衰退しつつあります。他の糸繰り屋や整経屋が廃業したという話も時折耳にしますが、その廃業した糸繰り屋の代わりがなかなか見つからないという状況となっており、ますます西陣工房の糸繰り業が担う役割は大きくなっています。この数か月の間にも新たな取引先が複数増え、仕事の全体量は増えています。今後もこの流れが続くことが予想されますから利用者職員一同、より一層力を合わせて取り組んでいけたらと思います。  
(四十万)



↑ゼンマイの写真

左が総、  
右が枠に巻いた糸



いとくり豆知識

糸繰りのゴコウはお釈迦様の後光に似ている事がらそう呼ばれています。

